

# 総合知による公正・公平な司法の基盤となる社会的技術/概念の構築

## 立命館大学(RGIRO:法心理・司法臨床センタープロジェクト)／人間科学研究所重点プロジェクト「法と対人援助」プロジェクト

公正な裁判の支援、司法被害者のサポート、加害者臨床、法教育など、司法に関わる数々な取り組みを推進。法科学、法心理、法情報学などの多角的視点から、科学的証拠にもとづく実践、実践にもとづく科学研究を展開している。特に(1)科学的・客観的証拠に基づき無実の可能性のある事例の検討を行う【日本版イノセントプロジェクト】の発足、(2)被害にあったとされる子どもから、できるだけ正確に負担なく聴取を行う【司法面接の研修事業化】。また、法科大学院【法と心理学科目】の運営にも協力。心理学や人間科学、司法、福祉を跨ぐ社会技術や概念を創造している。

### 総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

深い人間理解に基づく「人間らしい法」を構築することで、裁き、罰するだけではない、人間生活が守られる社会の実現を目指す。様々な分野の専門家が問題解決を目指して協力し、新しい司法の展開を進める。

### ビジョン達成のための課題

教育、研究の方法が異なる法学と心理学。その学融領域を創造するため、立命館大学では学部横断のプロジェクトを立ち上げた。問題の共有ではなく解決の共有を目指す基本姿勢を貫き、法と心理学という領域を切り開いてきた。

### 「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

2009年【立命館大学グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)】を、学部から独立した学長直轄研究組織として立ち上げた。R-GIROでは文理異なる学部/分野の研究者を結集し、社会課題の解決を目指すプロジェクトを推進。若手人材を育成をしながらプロジェクトを遂行している。



立命館大学司法面接研修事業HP より

<https://www.ritsumei.ac.jp/research/forensic/>

裁き，罰するだけでなく，深い人間理解（科学的根拠と理論）に基づき，異なる学範・セクションの専門家が問題解決を目指して協力しながら新しい司法の展開を目指す。



## 【実践例】

### 司法面接研修

司法面接とは？：犯罪や虐待被害が疑われる子どもからできるだけ正確な情報を，負担なく聴取する方法です。



**司法面接研究会**  
子どもの記憶，発達，臨床，認知，言語，教育に携わる研究者

**司法面接支援室**  
司法面接研究会のメンバーとトレーナー

立命が  
研修を  
事業化

**実務家**  
警察  
検察  
児童相談所  
公認心理師  
臨床心理士  
弁護士等

トレーナーとして参画

## 【実践例】

### 日本版イノセンス・プロジェクト

被告人  
(元) 受刑者  
法律実務家

冤罪被害者の支援

支援申込



- ・鑑定に関するアドバイス
- ・専門家紹介



Innocence Project Japan

法学者・心理学者  
弁護士・情報学者

- 法科学的証拠の再考
- 裁判員制度のバイアスの指摘
- \_視知覚鑑定
- \_事件報道の影響分析
- \_取調べの可視化・供述分析（鑑定）
- \_ディスコミュニケーションの分析

協力

専門家  
供述鑑定  
科学鑑定  
DNA鑑定